

ひと女と男パートナーシップ

企画課 男女共同参画推進係 ☎72-2111 内線222

「日本女性会議2008とやま」 煌く人とひと、連なる峰々へ」報告

10月17、18日に富山市において、「日本女性会議2008とやま」が開催されました。

「日本女性会議」は、1984年第1回名古屋大会を皮切りに、さまざまな角度から男女にかかわる課題を取り上げる国内最大級のイベントとして開催されてきました。市民と行政の連携・協働のもと各都市持ち回りで開催され、今回で25回目を迎えました。

今回の富山大会は、女性も男性も互いに理解し合い、それぞれが一人の「人間」として人生を輝かせ、煌きながら生きることの大切さを伝える大会でした。

▽10月17日(金)(1日目)

坂東久美子内閣府男女共同参画局長が基調報告を行い、「これからは育児休業制度だけでなく、働く環境の整備も同時に必要になる」と話されました。また、広岡守穂中央大学法学部教授が基調講演を行い、自身の夫婦関係や子育ての体験を紹介し、男女共同参画の重要性を訴えました。

シンポジウムでは、鹿嶋敬実践女子大学人間社会学部教授、高橋はるみ北海道知事、岩田喜美枝資生堂代表取締役副社長が子育てやワーク・ライフ・バランスの重要性などについて議論しました。内閣府男女共同参画会議議員である鹿嶋教授は、政府の男女共同参画に関する調査を踏まえ、高齢者の男女格差な

どについて紹介しました。高橋知事は、北海道における管理職への女性登用率が全国で低い状況にあることや子育てと仕事の両立を支援する企業への表彰制度などの取り組みについて紹介しました。岩田副社長は、同社における女性リーダーの育成と登用や男性の育児休暇取得に向けた取り組みについて紹介し、ワーク・ライフ・バランスについて「メリハリのある働き方をして効率が上がり、企業にとってプラスになる」と話されました。

▽10月18日(土)(2日目)

15テーマに分かれて分科会が行われました。子育て、食、歴史、福祉、国際社会、地域づくり、健康、環境など様々なテーマで開催され、多様な観点から男女共同参画について考える分科会になりました。

大会の最後に、歌手の加藤登紀子さんが記念講演を行いました。加藤さんは、CZMR(国連環境計画)親善大使の活動や鴨川自然王国を拠点とした自然を愛する活動について紹介し、参加者に歌と熱いメッセージを届けていました。

☆次回の日本女性会議は、2009年10月30日(金)～11月1日(土)に、堺市(大阪府)で開催予定です。

小都市男女共同参画推進条例
制定記念事業
おごりフォーラム2009共同事業

「亭主力の時代。」

「夫婦円満の極意」
戦わずして負ける」

▽日時 平成21年1月17日(土)

開場 午後1時30分

開演 午後2時

▽会場 生涯学習センター七夕ホール

▽講師 天野周一さん

(全国亭主関白協会会長)



▽問い合わせ 市企画課男女共同参画推進係(内線222)

※詳しい内容は、広報1月1日号でお知らせいたします。